（その３）

工場又は事業場の名称	JFEスチール（株） 東日本製鉄所　千葉地区

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

（１）の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
2　9	3　9	5　9	3　9						

その他（１９、２９、３９、４９、５９、９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

これまで当社においては、環境基準が定められているベンゼンについて、重点的に取り組み、下記の様な対策を行いVOCの削減に努めてまいりました。

＜対策１について＞

コークス炉の要員を増やし、ドア部からのガス漏れが発生した際には、迅速にガス漏れを抑止する応急処置を行うことができる体制を構築、継続的に実施しております。

＜対策２について＞

コークス炉のドアフレームを更新し、①ドアとフレームの間のソフトパッキン化、②炉体とフレームの間のライナー調整により密着性を向上させ、ドアからのガス漏れを抑制しました。

＜対策３について＞

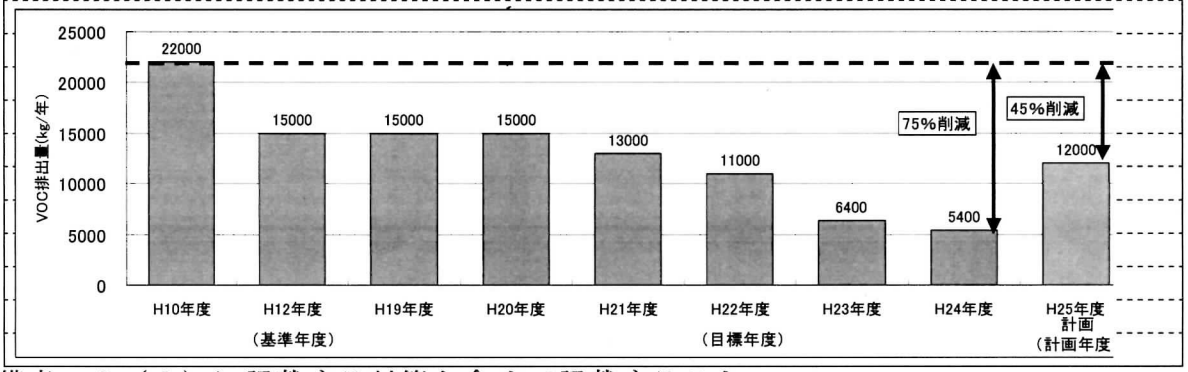
コークス炉集塵ガスの燃焼処理の安定化のため装炭車内の燃焼装置を改造しました。

コークス炉装炭車の集塵機をバグフィルター化することにより集塵効率をアップしました。

＜対策４について＞

平成23年6月でVOCを使用していた溶接管工場を閉鎖いたしました。

上記のような対策を実施したことにより、平成10年度から比較すると、平成24年度は排出量を45％削減する計画となっています。今後もこの対策を維持、管理していくことで、排出の抑制に努めていきます。



備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

（１）の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
2　9	3　9	5　9	1　1						